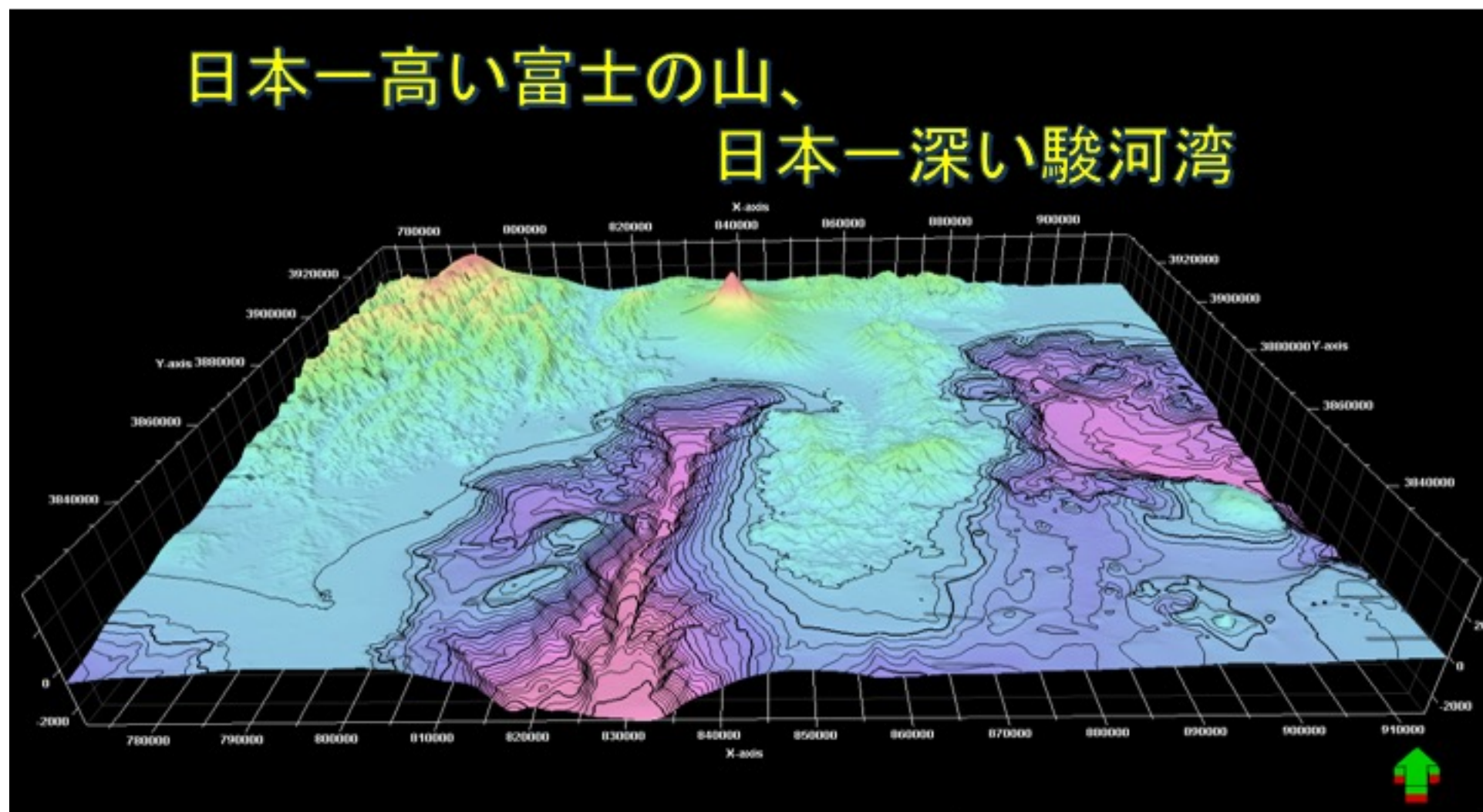
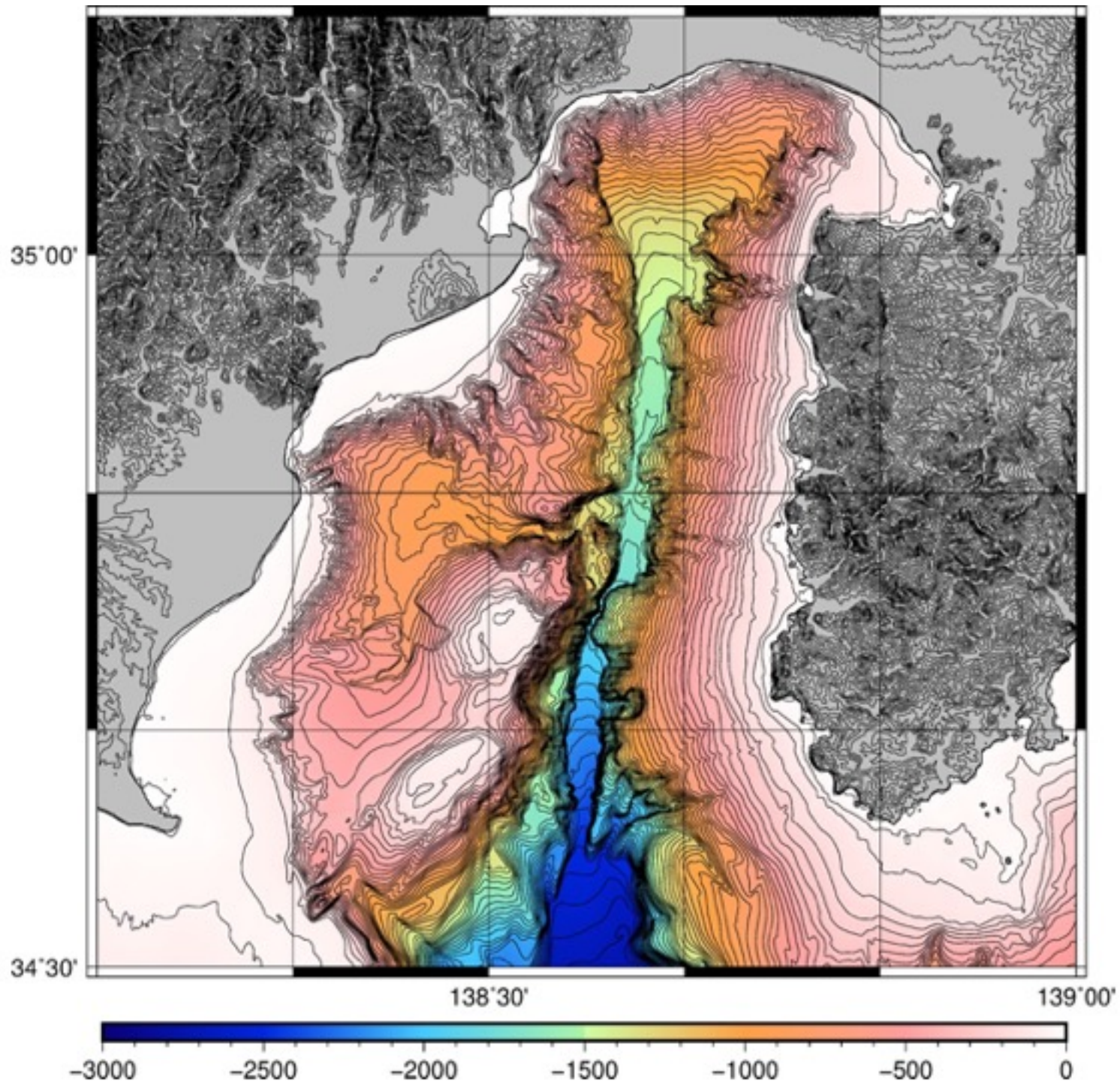


駿河湾ケーブル観測構想

日本一高い富士の山、
日本一深い駿河湾



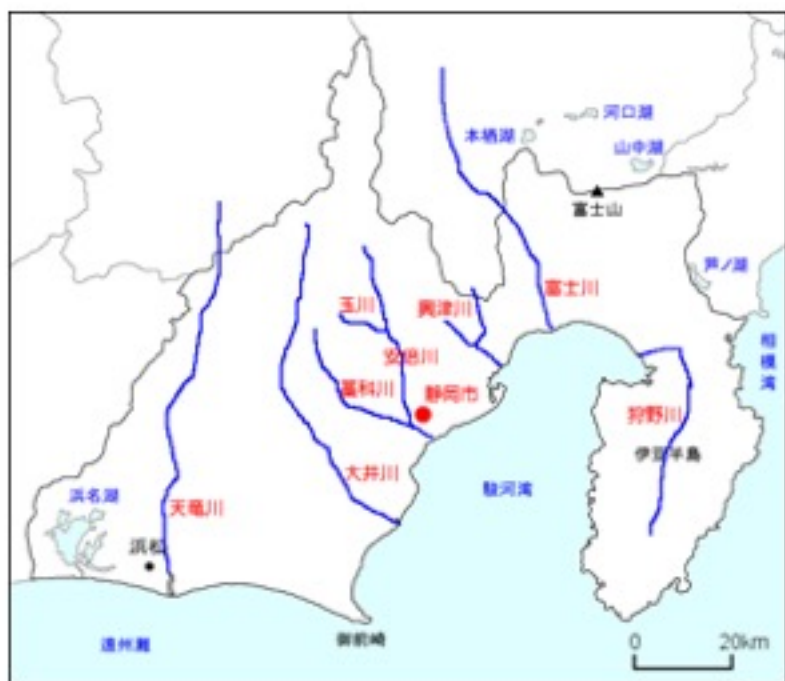
東海大海洋 坂本泉



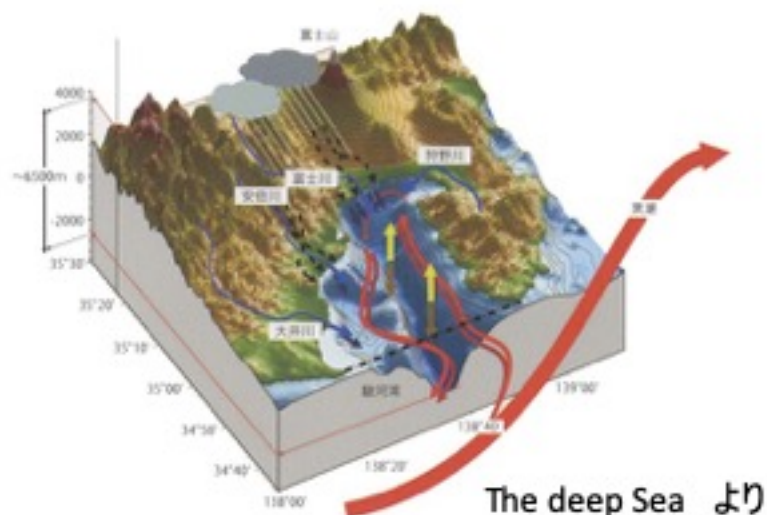
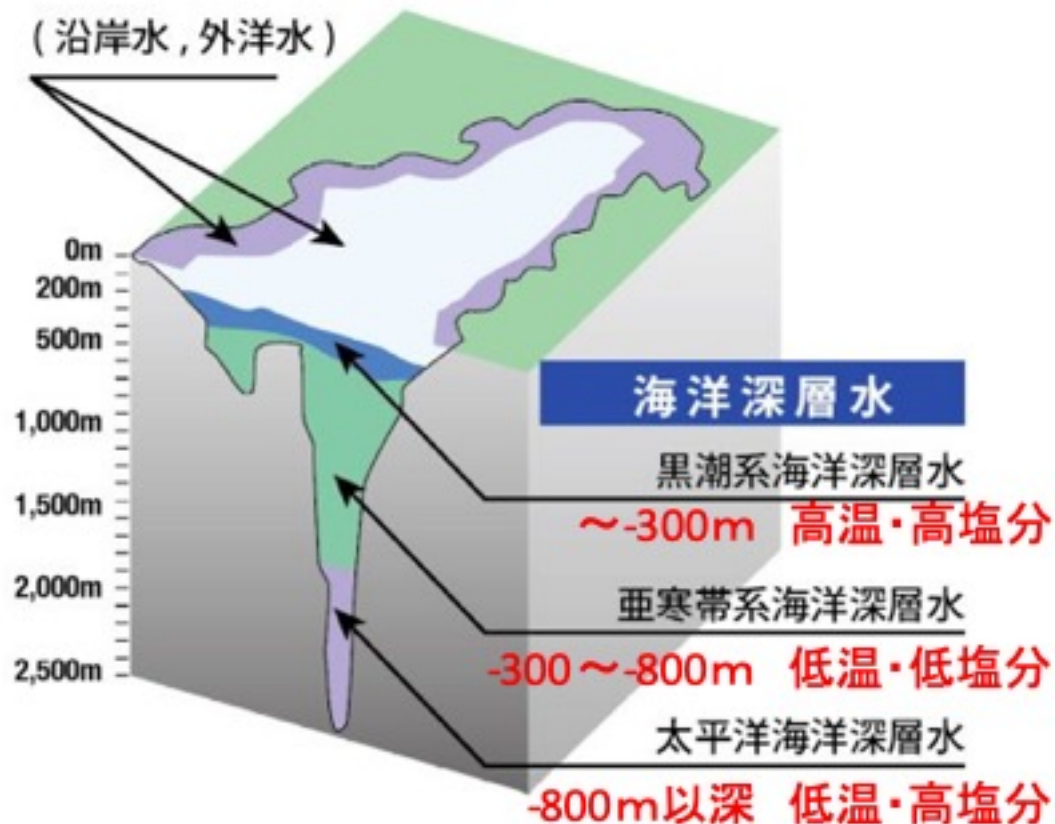
古くから日本の大動脈となっている



駿河湾の海水特徴



(沿岸水, 外洋水)



- 1) 狩野川・富士川・安倍川・大井川等4本におよぶ一級河川の流入。陸からの豊富な栄養塩の供給。
- 2) 深さ故の海水特徴(沿岸水・黒潮系・亜寒帯系・太平洋海洋深層水)。

“すべての海は駿河湾に通ずる” 稲葉栄生(1996)

駿河湾に棲む海洋生物 豊富な水産物

日本の魚類約2,300種のうち1,000種が生息



撮影場所：中村定広/日本海中生物株式会社（藻類、ウミウサグシ、サザリ）

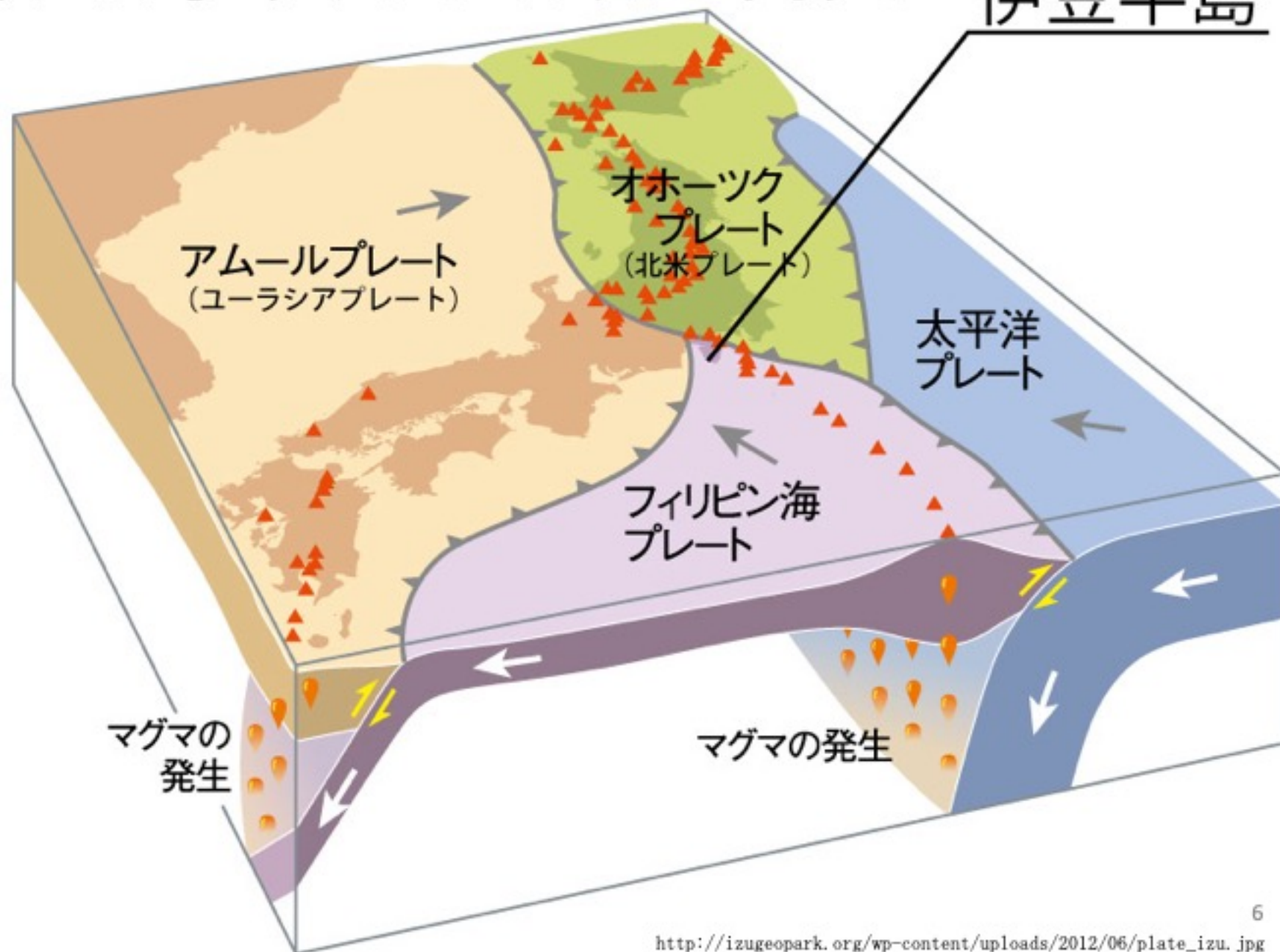
撮影場所：奥 多田（東京大学海洋学部）（オキアノコ）；中村定広/日本海中生物株式会社（オカアノコ、スルメイカの卵、メシジロ）



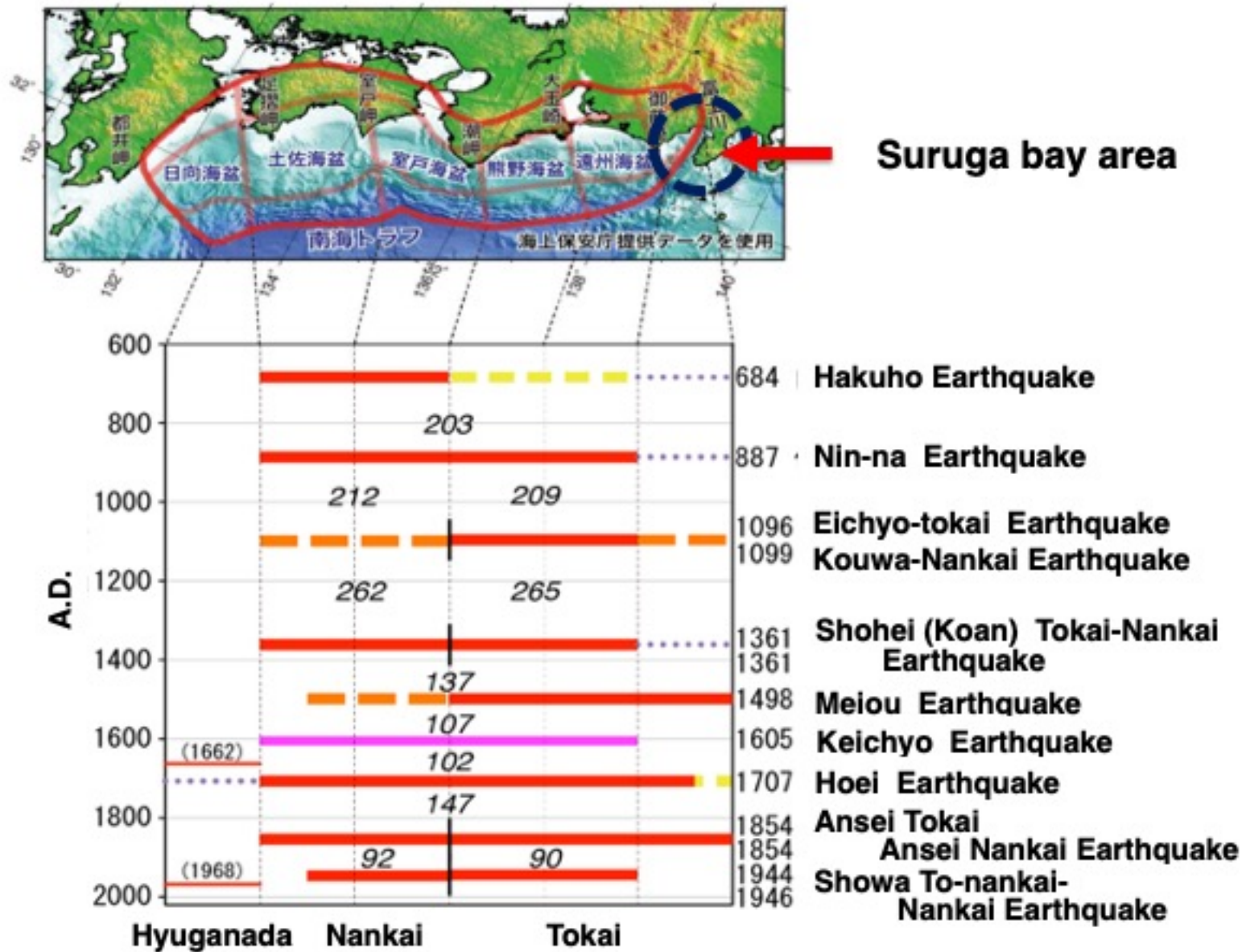
撮影場所：奥 多田（東京大学海洋学部）（オカアノコ、ササリ、オキアノコ）；中村定広/日本海中生物株式会社（ハナダイ、アジ）

駿河湾：異なる地塊の衝突

伊豆半島

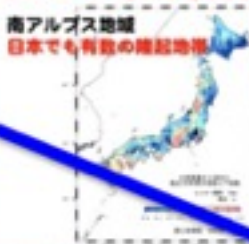


Earthquake diversity viewed from historical records

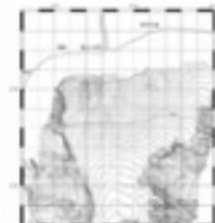


駿河湾周辺の自然

大量の堆積物が富士川により運ばれる



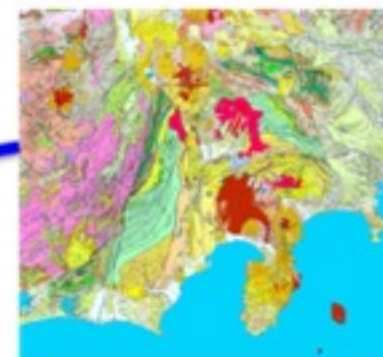
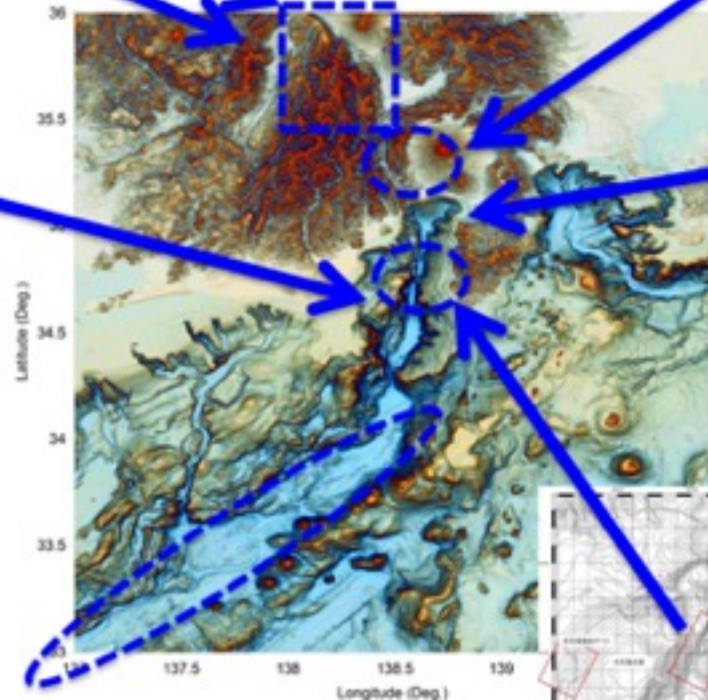
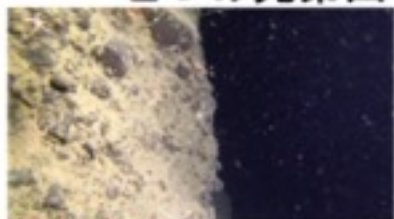
日本一の隆起体
南アルプス
山は削られ、そして下流に
大量の土砂が運ばれる



富士川河口周辺には、巨大なスロープが

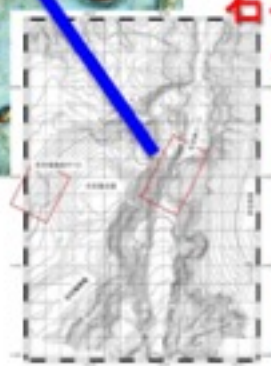


安倍川が生んだ
2つの兄弟山



駿河湾周辺における複雑な地質構造

石花海ゴージは、
グランドキャニオンだ!!



駿河湾八景

日本一の巨大河川—富士川
駿河湾にも火山が
日本版グランドキャニオン
異なる地塊の衝突
日本平と兄弟の山
自然と人間の共存は
焼津沖海底地すべり
豊かな自然 駿河湾

繰り返す巨大地震と災害

やがて富士川は、駿河湾トラフから南海トラフへ

2009年8月11日 駿河湾地震

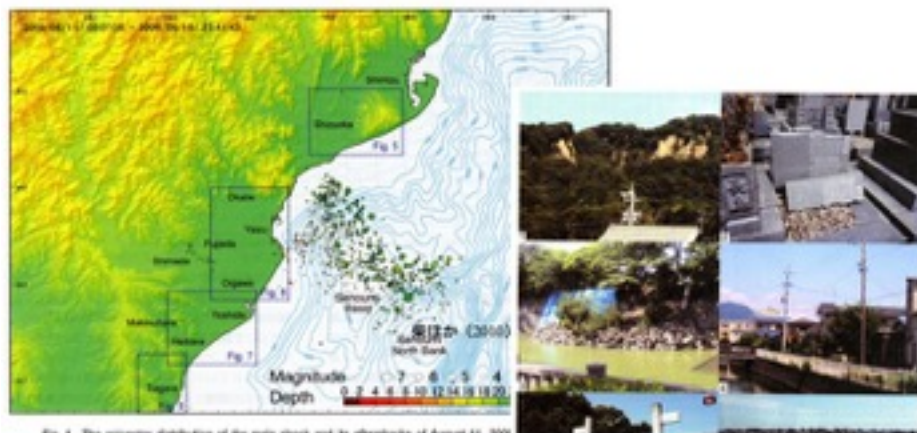


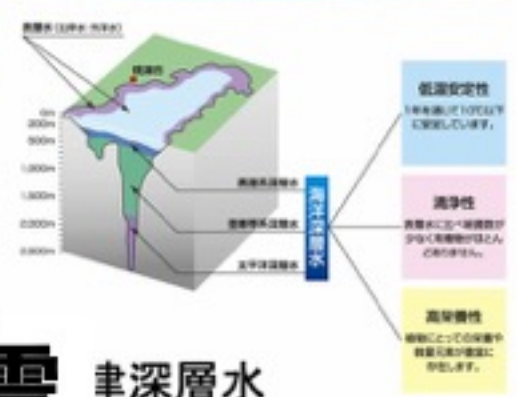
Fig. 1 The epicenter distribution of the main shock and its aftershocks of August 11, 2009 earthquake. The areas bound by dotted blue lines represent the location of Figs. 2 and 3.



静岡県駿河湾深層水利用促進交流施設「深層水ミュージアム」



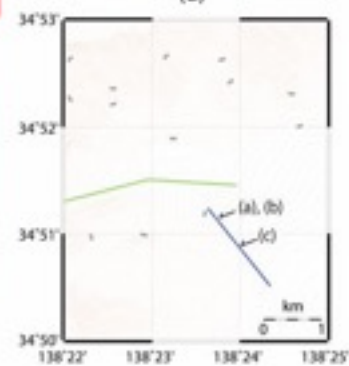
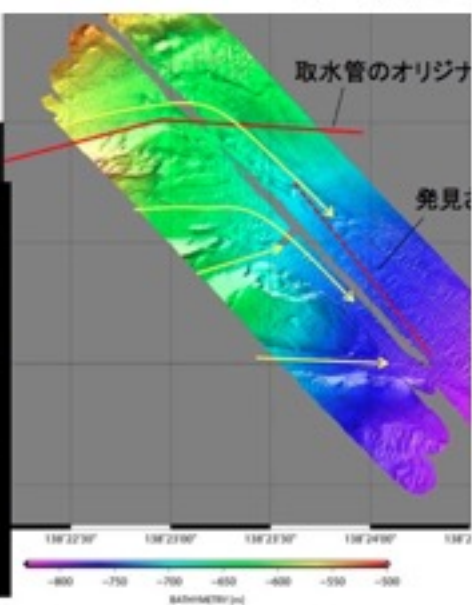
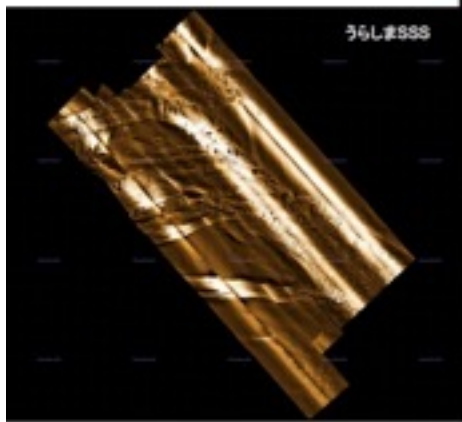
駿河湾深層水取水供給施設



駿河湾での直下型地震と海底災害

津深層水 (b)

うらしまによる海底地形データ (予測されるタービダイトの流れ)



日本経済新聞
2019年11月26日

トップ 経済 国内 国際 ニュース マーケット システム/IT 環境・アジア スポーツ 社会

静岡のサクラエビ秋漁、11月は中止 資源回復を優先

静岡県水産課 静岡県水産課

2019年11月26日

【静岡】サクラエビの秋漁について、漁業者でつくる静岡県水産協会は25日、11月いっぱい漁獲しない方針を決めた。12月のサンプル調査で稚エビが大量だったため秋漁の中止を優先する。12月に漁獲する場合は年内に200万尾程度の稚エビの回復を待たせて決める。秋漁の期間は例年だと12月下旬から1月下旬まで。

12日は静岡市の水産部で開いた組合の臨時会合には八十数人が出席し、1時間ほど議論。「稚エビの回復を待たず漁獲すると資源回復が遅れる」との意見が多数を占めた。11月30日までは調査漁業にとどめ、12月に改めて判断する。秋漁期間（12月24日まで）中の全漁獲量を定める声は出なかった。

調査漁業は1漁期に1回限り、静岡市の水産部で実施する。20隻程度が参加する方向で、一方の県水産部では、玄米漁獲の確保というところから調査漁業の促進がすでに決まっているが、12月に改めて資源の状況を調べる。翌月調査漁業は「生活がかかっているのが多いので、資源回復が確認との考えで漁業者は一貫している」と語った。

県内では秋漁でしかとれないサクラエビは今季、記録的な不漁に直面された。秋漁は例年より2週間ほど遅く12月25日に解禁されたが、漁獲ペースの回復を待たず資源の回復が待っている。






駿河湾の水産業はいま

海底画像取得方法(係留版):
海上ブイと海底重りの間のワイヤーに
一定の水深ごとにカメラを設置して
サクラエビを撮影する

例えば...



21.1m

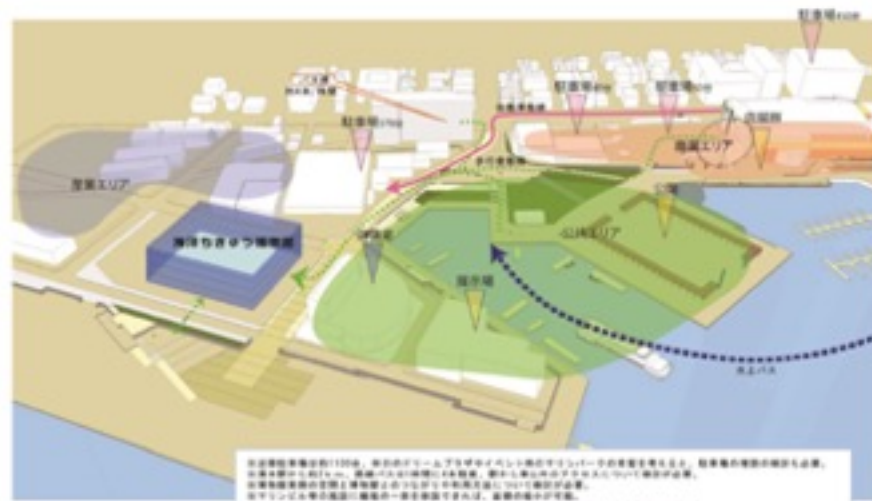


撮影装置「サクラ」初号機

12/26日の観測は60cm



これからの静岡は



本計画は平成31年2月に策定された「静岡市海洋文化拠点施設基本計画」に基づき、展示コンセプト「わたしと海と地球」のつながりを実感するそのきっかけは、「駿河湾」を軸とした展示構成とシニアプランディングを軸とする。展示コンセプト「わたしと海と地球」のつながりを実感するそのきっかけは、「駿河湾」を軸とした展示構成とシニアプランディングを軸とする。

南アルプスと駿河湾の自然

日本一の隆起体
南アルプス
山は削られ、そして下流に大量の土砂が富士川によって運ばれる

石花海ゴージは、
グランドキャニオンだ!!

豊富な水産資源

駿河湾のトッププレデターは?

繰り返す巨大地震と災害
破断線の意味は?

異なる地塊の衝突

やがて富士川は、駿河湾トラフから南海トラフへ

国際海洋文化都市・清水を目指し

海洋・地球総合ミュージアム

を整備します!

平成31年2月、静岡市海洋文化拠点施設基本計画を策定
2020年代前半 地盤予定

展示コンセプト

「わたしと海と地球」のつながりを実感するそのきっかけは、「駿河湾」

施設の役割

- 国際海洋文化都市としてのブランド化**
駿河湾を中心とした海洋文化・海洋科学的魅力を醸成することで、国際海洋文化都市のイメージ形成とシティブランディングを図る。
- 国際的な集客と賑わい創出**
施設周辺の海洋文化をテーマとしたエリアを形成し、グループや観光客の滞在した際の滞在の魅力を高め、広域で賑わいを創出する。
- 海洋分野を軸に研究・教育促進**
海洋分野で活躍できる人材育成の拠点となり、静岡からグローバルに活躍する人材づくり、次世代の育成を促進する。
- 海洋産業の振興と経済波及**
海洋に関する技術交流を促す拠点も形成し、海洋観光や観光、船舶など産業を軸に経済効果につなげ、地域での成長を加速する。

施設の特徴

- 世界的にも類まれな特徴を持つ「駿河湾」を題材に下流の川に流れる一貫した展示構成。海洋文化都市づくりを推進するシンボル的な役割を果たす。
- 国際海洋文化都市・静岡市、JAMSTECなどの学術機関と連携を軸とし、分かりやすく楽しめる展示と最先端の海洋研究活動成果を融合し、魅力的なデジタルコンテンツ（動画と映像を合わせた）展示を実現する。

静岡市
JAMSTEC
静岡大学

これからの清水港 日の出地区

海洋・地球総合ミュージアム

日の出を変えるミュージアム

まとめ

- 1) 駿河湾はフォッサマグナの南縁に位置し、最大水深約2500mに達する、日本で最も深い湾である。
- 2) 湾奥部は、東海道線・東海道新幹線・国道・東名高速等日本交通の大動脈
- 2) 狩野川・富士川・安倍川・大井川など4大一級河川が流れ込む湾である。
- 3) 沿岸水・外洋系水(黒潮系)・亜寒帯中層水(親潮系)・太平洋深層水の海洋構造を有する特異な湾である。
- 4) 駿河トラフを境に、フィリピン海プレートとユーラシアプレートが衝突し、複雑な地質環境が存在している。
- 5) 桜エビ・しらす等水産業が盛んであるが、近年不良が続き、生態系・海洋環境研究が求められている。
- 6) プレート境界型および直下型地震の発生が予測され、いっそうの観測・監視体制および防災教育が必要。

海洋・地球環境に対応した総合観測（ケーブル）システムが必要